



# ゆきしろみず

Vol 2

秋号

2005.9.18

発行/東京電力株式会社 東通事務所 〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303 TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019  
ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/higashidori-np/index-j.html>



村営第二牧場展望台から望む野牛川の夕日



東京電力(株)東通事務所  
所長 峯 雅夫

## 所長あいさつ

この度、7月1日より菅原 信行の後をうけ東通事務所長に就任いたしました「峯 雅夫」です。

こちらに来る前は東京の上野支社に勤務しており、青森へは出張で度々訪れる機会がありましたが、勤務としては今回が初めてでございます。

こちらに来て感じたことは、自然の美しさ、空気と食べ物のおいしさ、そして人の温かさであります。都会では味わうことのできない良さがたくさんありますので、これから少しずつ堪能できればと思っております。

さて、当事務所は、東通原子力発電所の着工に向けて計画を進めているところでありますが、皆さまのご理解とご協力をいただいております。皆様と円滑に推進できるものと考えております。

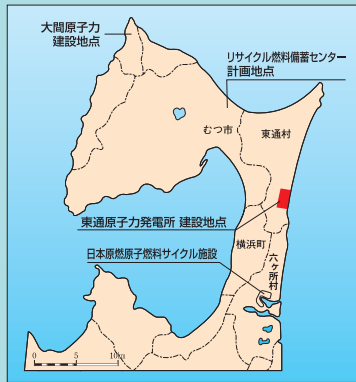
これから皆さまとはいろいろな場でお会いする機会があると思いますが、皆さまとのふれあいを大切にするとともに、地域に密着した活動をしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 東京電力東通原子力発電所の計画概要

東通原子力発電所1・2号機 完成予想図



発電所の位置



発電所の建設予定地は、下北半島の東通村に位置し、東側は太平洋に面しています。敷地は、海岸線方向約3km、陸地方向約1.5kmであり、ほぼ平坦な地形で、面積は約460万平方メートルとなっています。

計画概要

位置・面積	青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通および地先 計約460万㎡		
	出力	着工	運転開始
1号機	138.5万kW	19年度	25年度
2号機	138.5万kW	21年度以降	27年度以降

(平成17年度供給計画)



五代目所長 菅原 信行  
(平成13年6月27日～平成17年7月1日)



四代目所長 大久保秀幸  
(平成11年6月25日～平成13年6月27日)



三代目所長 柴田 輝  
(平成9年6月27日～平成11年6月25日)



二代目所長 早坂 光弘  
(平成7年7月1日～平成9年6月27日)



初代所長 島崎 貞夫  
(平成5年7月1日～平成7年6月30日)

歴代所長

主な経緯

- 昭和40年 5月 東通村議会、原子力発電所誘致決議
- 昭和45年 6月 東北電力および東京電力、東通村への原子力発電所の立地を公表
- 昭和49年 7月 気象観測開始、引き続き諸調査に着手
- 昭和55年 12月 東北・東京両電力、共同開発を発表
- 昭和56年 12月 第二次開発計画を発表
- (各社それぞれ110万kW×2基)
- 平成5年 7月 東京電力、東通事務所開設
- 平成11年 3月 改良型BWR導入に伴う東通村・青森県への説明
- 3月 平成11年度電力供給計画届け出(改良型BWR138・5万kW)
- 平成12年 8月 環境影響評価方法を通商産業大臣に届け出るとともに青森県ほか東通村など関係4市町村へ提出
- 平成13年 2月 環境影響評価方法書について経済産業大臣勧告を受領
- 平成14年 3月 環境現況調査終了
- 8月 環境影響評価準備書を経済産業大臣に届け出るとともに青森県ほか東通村など関係4市町村へ提出
- 8月 環境影響評価準備書説明会を開催
- 平成15年 4月 環境影響評価準備書について経済産業大臣勧告を受領
- 7月 環境影響評価書を経済産業大臣に届け出るとともに青森県ほか東通村など関係4市町村へ提出
- 8月 環境影響評価書について経済産業大臣から確定通知を受領
- 11月 東京電力東通原子力発電所1・2号機の設置に係る公開ヒアリング開催(経済産業省主催)

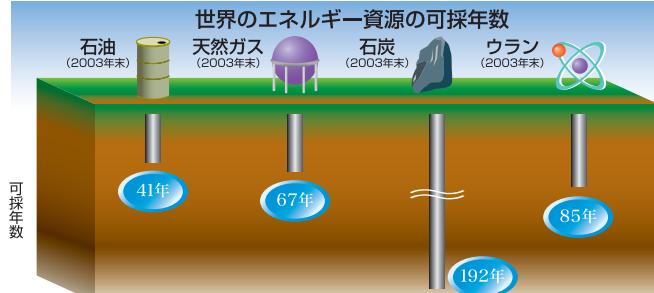
## 21世紀のエネルギーは大丈夫でしょうか?

地球のエネルギー資源には限りがあります。今のまま使い続ければ、石油、天然ガスは21世紀半ばまでしか持たないと言われています。しかも世界の人口増加と発展途上国の経済成長などにより、エネルギー消費量はますます増加し、このままではやがて世界的な規模でエネルギー需給が逼迫することが予想されています。

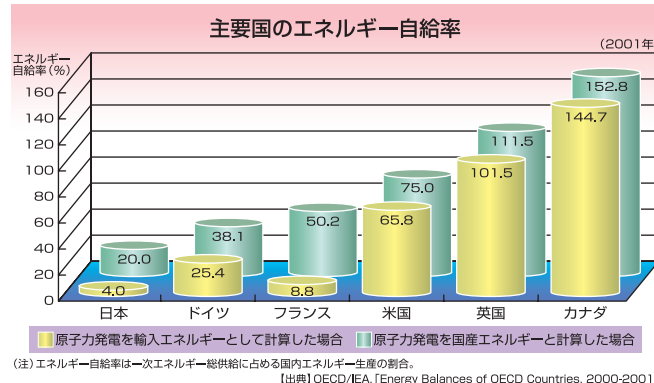
さて、日本のエネルギー自給率はどれくらいだと思いますか？ちなみに食料自給率は40%で先進国でも最低水準といわれています。

日本のエネルギー自給率は、なんと4%（原子力発電を国産エネルギーとした場合は20%）と、ほとんど海外からの輸入に頼る資源小国なのです。

したがって、将来にわたって安定した電力供給を続けるためには、石油、石炭、天然ガス、水力、原子力を、それぞれの特性を活かしてバランスよく組みあわせて使うことが大切なのです。



(注1) 可採年数=確認可採埋蔵量/年生産量。ただし、ウランについては十分な在庫があることから、年生産量が年需要量を下回っている。このため、ウランの可採年数については、確認可採埋蔵量を年需要量で除した値とした。  
(注2) プルトニウム利用によりウランは数倍から数十倍利用年数が増える。【出典】BP Statistical Review of World Energy 2004, OECD/NEA, IAEA [Uranium 2003]



(注) エネルギー自給率は一次エネルギー総供給に占める国内エネルギー生産の割合。【出典】OECD/IEA, [Energy Balances of OECD Countries, 2000-2001]



## 村民の笑顔



### 〈第16回〉<sup>か</sup>来さまいフェスタ ひがしどおりよさこい来さまい祭り2005

## パワーあふれる踊りに、拍手喝采!



代表チームの宣誓

鳴子を手に、見事なパフォーマンスと華麗な踊りを披露する「ひがしどおりよさこい来さまい祭り2005」が、8月28日東通村役場庁舎前とふるさと広場で開催され、村内外から18チームが参加して賑わいました。

来さまいフェスタの中の「よさこい」は、独自の文化創造と地域の活性化をはかろうと5年前から行われています。



一生懸命練習する小田沢保育所、園児たち

小田野沢保育所(中村勝則所長)では、年中・年長児で「よさまいキッズ」を結成し、4年前から出場しています。踊りの振り付けは保育士7人が相談し、子どもたちの元気をアピールした踊りで構成しました。練習は1ヵ月程前から。去年は見ていただけの年中児が、今年は参加できる喜びを体いっぱい表現しています。まずは年長児の踊りを「まねっこ」することから始まり、パレードとステージの2パターンに挑みました。川口智子主任は「子どもたちはみんな一生懸命です。よさこいを踊ることで、1つのことをやり遂げようとする心が自然に芽生えてきているようです」と話していました。

本番ステージ演技

また2年前、村のお寺「圓流寺」の檀家を中心に、村内の人で結成されたのが「チーム圓」(松木成雄代表)です。会員は村で英語を教える外国人を含む32人。中学生から57歳まで幅広いメンバーが特徴です。本番1ヵ月前には結団式を行い、毎週2回、それぞれが仕事を終えた午後7時から9時までみ

っちり稽古に励みます。曲と振り付けは、よさこいの本場・

高知市の専門家に依頼し、東通の海をイメージしました。さまざまな波や船、魚が飛び跳ねる様子など、ストーリー性のある躍動感あふれる踊りです。松木代表は「親子や夫婦、兄弟などを含むメンバー全員が楽しみながら踊っています。最初



仕事が終わってから練習に励む「チーム圓」

は恥ずかしいと思っていた会員も、一度踊るとハマってしまう「よさこい」は、一体感が何よりです」と話していました。祭り本番、青空の下、たくましく力強い踊りを見せてくれたチームの面々。「みんなで頑張ったよ」(二本柳アンナちゃん)「ドキドキしたけどお客さんの反応が嬉しかった」(小向井真知子さん)と話す瞳が、きらめいていました。



本番パレードの演技

## 今年も笑顔と感動に包まれた電気のふるさと電気の消費地交流事業



東通の伝統芸能にチャレンジする子供たち

●6月25日

東風塾のメンバーと大和生生活改善グループのメンバー28人が東京都立浮間小学校を訪問。そば打ち体験や、東通米を美味しい水で炊いたおにぎり作り、ホタテの試食などで交流をはかりました。

●7月22日～24日

今度は浮間小学校から児童と父母ら22人が東通村を訪問し小田野沢と老部地区にホームステイ。磯体験では活きたアワビに触れ、畑ではブルーベリーを摘み、船に乗ったり、寒立馬に触ったり、民俗芸能を体験



そば打ち体験に張り切る子供たち

するなど様々な交流を深め、毎日が感動の連続でした。その後も手紙や写真が届き、交流は今も尚、続いています。

参加報告

六ヶ所村 泊例大祭

第16回来さいフェスタ

〔平成17年7月18日、20日〕

六ヶ所村泊の諏訪神社、貴寶山神社の例大祭の流し踊りに参加しました。今回が初めての参加となりましたが、泊のお母さま方などから一週間に渡り夜間の猛特訓を受け例大祭に臨みました。



当日は両日とも暑いぐらいの天候に恵まれ絶好の祭り日和となりました。しかし、私たちのコンディションはそれまでの練習の疲れ、長時間の徒歩での移動により踊り始めから足が棒になり決して万全な状態ではありませんでしたが、道路の両脇から泊の皆様からの厚い声援をいただき何とか無事に踊りきることができました。

最後になりましたが全く踊りの経験のなかった私たちにあきらめることなく熱心に指導して下さった泊のお母さま方に感謝するとともに町内会の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。



一週間に渡り、流し踊りの猛特訓をしていただいた泊のお母さま方に大感謝！

〔平成17年8月27日～28日〕

東通村の特産品やライブなどで賑わった第16回来さいフェスタに、東京電力も参加しました。27日の「東通ふるさと祭り」では、東京電力東通事務所と東北電力東通原子力発電所建設所が共



同で「奪三振キングゲーム」と、サッカーの的当てゲーム「東通カップGOAL!GOAL!!GOAL!!!」を開催。ちびっ子から大人まで、多くの人が参加してくれました。

下北をはじめ、三沢市や十和田市、弘前市などから18チームが出場し、華麗な舞いを披露した28日の「ひがしどおり よさこい 来さい祭り2005」。この「よさこい」には、東北電力をはじめとする電力企業チーム「風舞翔吹(かさまいしょうぶ)」に、東通事務所からも4人が参加しました。鳴子を手に、揃いの衣装を身にとり、感動の「よさこい踊り」を体験することができました。



ちびっ子たちに喜ばれた楽しいゲーム。躍動感あふれる「よさこい踊り」を体験！

まさか半島豆知識

みんなでヨーク考えてみよう！

ゆきしろみず

ミニミニ

クイズ

〔問題〕青森県が日本一の水揚げを誇るヒラメは、東通村でも代表的な水産品です。お刺身やムニエル、フライなど、幅広い料理メニューとともにおいしさでも大人気のお魚です。さて次の3つの中、青森県の「県の魚」にも指定されているヒラメは何番でしょうか？

①



②



③



応募方法

答がわかった方はハガキに答え、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見・ご感想をお書きの上、下記までお送りください。正解者の中から抽選で30名様に図書カードをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。〔応募締切〕平成17年10月20日(木)消印有効

クイズの答えは12月号(冬号)に掲載いたします。送り先/東京電力(株)東通事務所 広報グループ宛 〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303

〔6月号の答えは〕  
①でした

※応募総数23通で全員正解でした。なお、当選者を掲載する予定でしたが個人情報保護の点から掲載いたしませんのでご了承ください。



図書カード

読者の声

- 原子力発電というと危険なイメージがありましたが、CO<sub>2</sub>排出抑制という点では効果的ということが、今回の広報ではじめてわかりました。いろいろな点からエネルギーを考えなければいけません。
- 近くに住んでいても知らないことだらけで楽しく読ませてもらいました。東通のことがいろいろわかりました。おいしいホタテ貝は食べてみたいと思いました。次回を楽しみにしています。
- 村民の笑顔のコーナーが良かったです。そ

- ばの手打ち体験はしてみたいと思いました。
- 東通は自然がいっぱいで、夏になると子供たちは、海へ山へ大忙しです。毎年カブト、クワガタ虫採りに行きたがるのですが、近くでいい所はないですか？地元出身ですがよくわかりません。もし穴場があったら紹介して下さい。お願いします。
- 重なる号数の期待を申し上げ、地域に根ざした電力となって下さい。
- 「祝 発行 雪白水」今後もユニークな記事等期待しています。がんばって下さいネ！！

- 今回初めて広報誌を見ました。なかなか東通方面へは行かないので今度、行ってみたいと思いました。イベント情報などイロイロ載せて下さい。
- 東風塾の交流事業はテレビでも観ましたが大変感動しました。これからもぜひ続けて欲しいと思います。紙面に写真が多く使用されており、とても見やすかったです。東通村の自然や動物、草花などももっと紹介して下さい。次号も楽しみにしています。



■当広報誌に関してのご意見、ご感想をお寄せください。また、地元の皆様から広く投稿を募集しております。

●ご意見、ご感想のお問い合わせ

東京電力株式会社 東通事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303

TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019(月～金・平日午前9時～午後5時)

12月号(冬号)の主な内容予定

表紙写真/初雪の物見崎・東電トピックス・エネルギーの扉・村民の笑顔/東通村民俗芸能の伝承・イベント参加報告・ゆきしろみずミニミニクイズetc

編集後記

夏まつりも終わり、季節はすっかり秋ですね。各地域でお祭りがありましたが、我々所員もいくつか参加しました。お祭りは子供から大人まで楽しめるのでいつになっても良いものですね。来年も楽しみです。

さて、第2号の広報誌はいかがでしたか？今回の「村民の笑顔」はよさこい踊りをメインに取材しました。よさこい踊りの取材にご協力いただいた皆様ありがとうございました。どちらもとてもチームワークが良く、日頃の練習成果が出たすばらしい踊りで感動しました。これからも応援いたしますので頑張ってください。

次号は12月に発行を予定しておりますのでよろしくお願い申し上げます。